



公益財団法人ケア・インターナショナル ジャパン
中期戦略計画2017（2014年7月－2017年6月）

2014年6月2日

2017年6月までに、当財団は
貧困の根源的な解決と尊厳のある世界に向けて、
明確な付加価値のもと、
財政を立て直し、認知度と影響力があり
より貢献度と効率性が高い組織となる

1

明確な付加価値

- 支援対象国の人々の多様性を尊重し、最も弱い立場に置かれた人々の権利を保護し能力を強化する事業を実施すること。
- 「女性と女子」の自立支援を通じて貧困のない社会を目指すこと。

2

財政の再建と健全化

- 政府系助成金への依存を見直し、今後の規模拡大に備えて自己資金力を高めること。
- あるべき組織像を実現するため、健全な収支バランスを確立すること。

3

認知度と影響力

- 「女性と女子」というテーマに沿ったブランディングを強化し、多くの支援者により団体名と活動が認知されること。
- 様々な支援方法を提供し、支援者の参加・関心・支援・満足というサイクルを実現すること。
- 法律や制度や意識の改善に他団体と連携して影響を与えること。

4

より貢献度と効率性の高い組織

- 組織としての目指すべき姿が全体で共有され、個々の業務・行動によって組織全体のパフォーマンスが向上する仕組みがあること。
- 外部関係者から組織として高い評価を受けること。
- 一人一人がコスト(経費と時間)意識を強く持ち、組織全体として限られたリソースの生産性を高めること。

基本戦略

基本戦略

1 「女性と女子」というテーマに基づく事業の実施、
支援効果、持続発展性の向上

2 民間資金の拡大と自己資金能力の向上

3 戦略的なコミュニケーション(働きかけ)の強化

4 収支管理の改善とリソースの有効活用

達成できるビジョン

1 明確な付加価値

- 支援対象国の人々の多様性を尊重し、最も弱い立場に置かれた人々の権利を保護し能力を強化する事業を実施すること
- 「女性と女子」の自立支援を通じて貧困のない社会を目指すこと。

2 財政の再建と健全化

- 政府系助成金への依存を見直し、今後の規模拡大に備えて自己資金力を高めること。
- あるべき組織像を実現するため、健全な収支バランスを確立すること。

3 認知度と影響力

- 「女性と女子」というテーマに沿ったブランディングを強化し、多くの支援者により団体名と活動が認知されること。
- 様々な支援方法を提供し、支援者の参加・関心・支援・満足というサイクルを実現すること。
- 法律や制度や意識の改善に他団体と連携して影響を与えること。

4 より貢献度と効率性の高い組織

- 組織としての目指すべき姿が全体で共有され、個々の業務・行動によって組織全体のパフォーマンスが向上する仕組みがあること。
- 外部関係者から組織として高い評価を受けること。
- 一人一人がコスト(経費と時間)意識を強く持ち、組織全体として限られたリソースの生産性を高めること。